

平成 19 年度第 3 回 地盤工学会 技術者教育委員会議事録(案)

日時：平成 20 年 2 月 4 日(月) 13:00～15:30

場所：地盤工学会中部支部事務所（ポーラ名古屋ビル）

出席者：中野，大橋，木村，小林，竹内

資料

- 資料 1：前回議事録
- 資料 2：1 月 21 日運営委員会議事録
- 資料 3：H19 年度会員支部部会の活動に関するアクションプラン
- 資料 4：地盤工学会研究者 DB 立ち上げ WG 準備会報告
- 資料 5：現況 DB 項目一覧表
- 資料 6：地盤工学会 IT 関連費用とその効果について（総務部会資料）
- 資料 7：第 3 期委員会 試案プログラム 4：国際的互換性のある技術者の育成支援活動
- 資料 8：スケジュール表
- 資料 9：DS 企画案（小林氏）

議題

1. 前回議事録の確認、1 月 21 日運営委員会報告、ルーマニア国際会議投稿確認
2. 全国大会 DS 運営案（小林氏）
 - ◆ 昨年開催時の経緯・放射性廃棄物地層処分の現状・企画案（資料参照）説明
 - ◆ 時間は 1 コマとする。
 - ◆ オーガナイザーを大西先生に依頼。座長を NUMO 北山氏。
 - ◆ 聴講者動員のため、発注者側の参加が必要。
 - ◆ 地盤関連の研究者が選定しやすいようにテーマをあらかじめ本委員会側で設定。北山氏により選定。
 - ◆ テーマ案：①透水、②再冠水による変形（クリーブ）
 - ◆ 発表者は 5 名程度、北山氏 or 寺田氏、地層処分関連の研究者 2 名、地盤関係の研究者 2 名（若手？今まで地層処分関連で発表していない人が望ましい）。
 - ◆ 今回議論を基に、企画概要を作成(小林氏)。
3. アクションプランの確認
 - ◆ 3.1.2(a) 講習会関連は、木村委員より飯塚事業部長に確認。コース制導入の意図等を理解して変革事業を進めている模様。事業部技術普及委員会（古谷委員長）に委譲していけばよい。
4. DB 構築 WG
 - ◆ 中野委員長が地盤工学会永田氏より情報収集報告(資料参照)。

- ◆ コンテンツの議論を H20 度、業者選定・発注が H21 年度、H22 年度公開目標。
- ◆ DB バラバラで費用が大きい。統合することによるコスト減が期待できる。
- ◆ 「評価」について、地盤工学会が持っているパワーを把握する意味で必要。また座長選定等の評価による若手技術者のモチベーション向上の期待。
- ◆ 強力な DB を構築することによる広報(例：NHK に提供)や災害時調査団選定などに活用する効果。

5. 国際的互換性

- ◆ 国際部では現在留学生データベースを作成中（中野委員長（国際部員））。
- ◆ 上記に付随して海外で活躍している日本留学経験者のデータベースを作ることも有益。

6. 新メンバー追加

- ◆ 中部支部での活動ということで坪田氏、村田氏、前田先生（名工大）が候補。
- ◆ 人数も多くてもよい。中部支部で構成している理由が必要になる。
- ◆ 次回会議より参加了承。理事会に諮る。

7. 中間報告方針の審議

- ◆ 今までの活動の整理（議事録）、ルーマニア会議をもとに作成する。
- ◆ 土と基礎に 1 枚ものとして公表することが重要。

8. その他

次回 4 月 14 日（月）13:00～（予定）